

鈴鹿クラブマンレースに新クラス登場！ SUPER TOURING 2クラス混走レース!! 「スーパーツーリング」クラス

鈴鹿クラブマンレース運営委員会では、2009年『鈴鹿クラブマンレース』に、「スーパーツーリング」クラスを導入いたします。新たな「スーパーツーリング」クラスは、車種を限定したワンメイクレースとは異なり、多種多様な車両が競いあうレースとなります。

シビックやヴィッツ、そして、新型フィット、デミオ、インテグラ、S2000、アルテツァ、ロードスターなど、これまではレースに参加できるカテゴリーが無かった車両を、有効に活用できるクラスです。

気筒容積 901cc～1,500ccの「スーパーツーリング1」と気筒容積 1,501cc～2,000ccの「スーパーツーリング2」の2つに分かれたクラスで、その2クラスが混走するレースとして開催いたします。

参加可能な車両は、JAF(日本自動車連盟)のN1規定に従い、通常の国内モデルとして、生産/販売された公認/登録車両です。ガレージで眠っているレース車両、安く手に入る中古車や買い替え寿命のマイカーを、レース専用の車両に改造して、比較的低コストでレースに参戦できる可能性が広がります。(ロールケージ装着や消火器設置など、レース時の安全に関する改造が必要となります。また、レース専用の車両となりますので、一般公道での走行は出来なくなります。)

初戦は、4月5日「2009 鈴鹿クラブマンレース Round 2」での開催となります。

■開催日程・開催場所

- ・4月5日 「2009 鈴鹿クラブマンレース Round 2」 鈴鹿サーキット 西コース
- ・5月30日・31日 「2009 鈴鹿クラブマンレース Round 3」 鈴鹿サーキット フルコース
(※300km耐久レースに他カテゴリーとの混走として開催)
- ・8月9日 「2009 鈴鹿クラブマンレース Round 4」 鈴鹿サーキット 西コース
- ・10月11日 「2009 鈴鹿クラブマンレース Round 5」 鈴鹿サーキット 東コース
- ・11月15日 「2009 鈴鹿クラブマンレース Round 6」 鈴鹿サーキット 西コース

■クラス別の参加車両

【スーパーツーリング1】気筒容積 901cc～1,500cc

ヴィッツRS、マーチ、デミオ、フィットRSなどのコンパクトカーが中心となりますが、コペン、アルト、ミラなど軽自動車ターボも該当します。

【スーパーツーリング2】気筒容積 1,501cc～2,000cc

アルテツァ、ロードスター、インテグラ(DC5)、シビック タイプR、S2000などのスポーツタイプの車両が該当します。

※競技車両規則の詳細は、鈴鹿クラブマンレース運営委員会発行のブルテンをご参照ください。

●レース参加/競技車両規則に関するお問い合わせ

鈴鹿サーキット SMSC事務局 TEL. 059-378-3405 FAX. 059-378-3625

CLUBMAN RACE



鈴鹿クラブマンレースに新クラス登場!!

SUPER TOURING

2クラス混走レース!!
スーパーツーリングクラス



新クラス「スーパーツーリングクラス」は、車種を限定したワンメイクレースとは異なり「何でもあり」が最大の魅力。シビックやヴィッツはもちろん、新型フィット、デミオ、インテグラ、S2000、アルテッツァ、ロードスターなど、現状では走るカテゴリーが無い車両を言わば“有効活用”できるクラスだ。
気筒容積901cc～1,500ccの「スーパーツーリング1」と気筒容積1,501cc～2,000ccの「スーパーツーリング2」の2つに分かれたクラスで混走する。参加可能な車両はJAFのN1規定に従い、通常国内モデルとして、生産、販売された公認、登録車両だ。ガレージで眠っているレース車両、安く手に入る中古車や買い替え寿命のマイカーをそのまま改造して、低コストで参戦するのもアリ! 多彩な車種が登場すれば、走る方も観る方も楽しいレースになるはず。知り合いや仲間を誘って参加してみよう!

初戦は、4月5日開催の「2009 鈴鹿クラブマンレース Round2」での開催となる。



【スーパーツーリング1】 気筒容積901cc～1,500cc
トヨタ・ヴィッツRS (1,496cc)、日産マーチ (1,240cc)、マツダ・デミオ (1,498cc)、ホンダ・フィットRS (1,496cc)などのコンパクトカーが中心となるが、コペン (659cc)、アルト、ミラなど軽自動車ターボ(※2)も該当する。

【スーパーツーリング2】 気筒容積1,501cc～2,000cc
トヨタ・アルテッツァ (1,998cc)、マツダ・ロードスター (1,998cc)、ホンダ・インテグラDC5 (1,998cc)、ホンダ・シビック・タイプR (1,998cc)、ホンダS2000 (1,997cc)などのスポーツタイプ車両

※1: 賞金はクラス別に設定します。
※2: 過給装置付エンジン(ターボ付エンジン)について
過給装置付エンジンの車両は、その公称気筒容積に、ガソリンエンジンについては、係数1.7を乗じ、それによって得られた値に相当するクラスの車両として扱われます。

※掲載してある写真はイメージです。

※掲載している写真はイメージです。